
東方小説「東方壊復犬」

犬齒

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

東方小説「東方壊復犬」

【Nコード】

N3134Z

【作者名】

犬齒

【あらすじ】

<http://ncode.syosetu.com/n8961y/>

<http://ameblo.jp/saisyuuikitiku>
<http://ameblo.jp/saisyuuikitiku>

この小説のキャラが出てくると思われます。たまにw

<http://ameblo.jp/huutakunn/>

の設定を使うところがあると思われま

壊れた幻想を復元する簡単なお仕事です。

東方二次小説「東方壊復犬」

世は平和な今日この頃。

ある一人のお兄さんに来客が！

幼馴染、メガネっ娘、ツンデレ、シヨタ

と共に、主人公がお送りする

笑いあり！涙あり！アツ！ あり！

幻想系冒険壊復ファンタジー 第三作

ぜひ見てくださいね？

(文章力の保証はいたしかねます)

第一話 「俺、死にます」 (前書き)

文章力がない。

ただそれだけです

第一話 「俺、死にます」

「殺してよ…殺してって言うてんだろ！」

何もないこの部屋に響く声。

俺は…こいつの幼馴染なんだ。

幼馴染…なんだから。

やらなきや。

第一話「地デジ化しました」

ぴんぽーん。雪積もる家のチャイムが鳴り響く。

うちに来客が来るのは久しぶりだな…

そう思いながら引き戸を開ける。

「ひ、久しぶり…」

ん？えつと、あれ…誰？

「あれ…もしかして僕の事忘れてる？」

すいません、忘れてます。

「冗談だよね？」

冗談じゃないです。

「冗談…だよ…ね？」

そこに立つ、彼女から、水滴が流れ落ちる。

「うわーん！」

雪積もる家に彼女の声が響く。

彼女の頬が、赤く染まる。

ちよ、ええ…！？

「だ、大丈夫？」

俺は声を掛けてみる

声が…でない

って、なにこれ体が痛い。

そう思った瞬間に、玄関が真っ赤に染まる。

俺、死ぬのか？

第一話 「俺、死にます」 (後書き)

はいすいません。書いちゃいました…

文章力が無いのに書きました。

あーあ…まあこれを見る人自体居ないんだしいいかw

(てことは…これ独り言じゃん！)

キャラの設定ないまま突っ走りましたw

二話目は無いかもしれませんがよろしくお願いします。

東方二次小説

「東方壊復犬」

スタートです。

第二話「露出魔の訪問」

俺、死ぬのか？

と思っていた時期が俺にもありました。

「ソドッコイシヨ……」

血まみれになつて倒れた彼は、まるで、その体だけ時が戻つたように、生き返つてきた。

いや、生きていた。という方が正しいのだろうか……

こんな誰もが驚くビックリ現象にも、そこにいた彼女は、常人とは違う反応を示した。

「遅いよこのバカ。数百年前より1秒伸びてるしさー」

俺は単純に驚いた。この、目の前にいる少女が、俺の数百年前を知っていることを。

……この幻想郷に、俺の事件を知らない人は居ないだろう。

だが、俺を詳しく知っているやつなど、指を折るほどしか居ない。

そしてその歳にしてこの見た目。思いつくのは一人しか居ない。

「えっと……斉藤搔ちゃん？」

そう、斉藤搔。俺の幼馴染みの”妖怪”だ。

「おっ……思い出したー？ やつたあ！」

……喜ばれても嬉しくないな

「あつ、べつ、別にあんたに覚えててもらつて嬉しかったわけじゃないんだからねっ！」

……ツンデレか、こいつ好きだな。このキャラ。

「搔さあ……キャラ作ってんのは分かってるんだから普通に話そうぜ

？」

「あはっ、分かった分かった」

彼女はそう言うと、突然服を脱ぎ始めた。

はあ…また始まったよ、露出癖。

「風呂ならその角右に曲がったところだぞ。」

風邪ひかれても困るしな…

「ありがと。一緒に入る？なんちってw」

こいつは…分かっているくせになあ、俺の好みが。

「まああんたは他の人と違って好みが違うもんねーシヨタとk」

「はいさっさと風呂！風呂入れ！」

ちよ、読者様が聞いているのに（そもそも読者いるのか？

何言ってるんだ、（；、）ノヤメテー！

「別に私、嫌いじゃないよ？びーえ」

「はい！これバスタオルと着替え！俺ので我慢しろ！」

ボタン！勢い良く俺はドアを閉めた。

第二話「露出魔の訪問」(後書き)

はい、二話目です。これからどんどん更新ペース落ちていきます。主人公より先にヒロインの名前が出ちゃいましたね。

さてさて、今日は日曜日ですね！ 日曜日ですね…。

やだなあ…やっぱ日曜日が曜日の中で一番鬱になります。

サザエさん症候群ってありますが、僕はちびまる子ちゃんて鬱になりました。

一話一話、短いですがよろしく願います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3134z/>

東方小説「東方壊復犬」

2011年12月11日21時51分発行